

先週の回答

徒手空拳



「手に何も持たず、自分以外に頼るものが何もない裸一貫ということだ。たとえば、手に棍棒とか短刀とか持った相手に素手で立ち向かう姿が徒手空拳だ」

「勇気があるんですね」

「そう、手に何も持たず勇気だけを持っているのが徒手空拳。パパの出身地が静岡県。パパも若い頃は青雲の志だけ秘めて徒手空拳で世の中に立ち向かったもんだ」

「その結果は？」

「言いたくない。それに比べて女はどうだ？」

「女性は常にハンドバッグを手に持ってますね」

「あれを持たないと外に出られないのが情けない」

「何で情けないんですか？」

「あの中に何が入っているとと思う？」

「たぶん、サイフ、手帳、ハンカチ、ティッシュ、各種レシート、それから・・・」

「あめ玉、輪ゴム、ツメ切り、口紅、コンパクト、食べかけのあんパン、靴下に眼鏡、わたクズ、ゴキブリの死骸。何でもかんでも仕切りがないから整頓しないでほうり込んでおけばすむ」

「怒っているんですか？」

「家の中も自然とハンドバッグ状態になっけていても平気になる」

「女性は忙しいから仕方ありませんよ」

「ママの肩を持つのか」

「ママの肩を持つたりしません。何も持たない徒手空拳でいきますから、ぼくも」



